

おがまち日奈久ニュース

「アグリ日奈久」農林水産大臣賞受賞 熊本県農業コンクール地域農力部門 秀賞も

八代地域で初めて地域営農組織の法人化を実現した「アグリ日奈久」が、農林水産大臣賞を受賞しました。熊本県農業コンクール地域農力部門でも最高の秀賞を受賞しており、ダブルの受賞となりました。その授賞式が、コロナ禍で延期になっていた県農業コンクールの表彰式に合わせ、3月15日に熊本市で行われました。

日奈久地区の100ヘクタールを超える農地を守ってきた「アグリ日奈久」。収益性の高い作物を導入し生産性を高めたり、地元雇用を進めたりしてきました。また、研修生を積極的に受け入れ、後継者や若手生産者の育成に取り組んできたことが受賞の理由です。

代表の白石節夫さんは、「私は、



賞状を抱え笑顔の白石さん

3月4日（金）に日奈久中学校の令和3年度第75回卒業証書授与式が挙行されました。

今年もコロナ禍のために来賓不在の卒業式となりましたが、11名の卒業生は、たくさんの思い出を胸に笑顔で母校を巣立っていきました。

式辞の中で、校長の中村恭介先生は、一人一人の良さを頑張りを伝えながら、次にははむけの言葉を贈りました。

「卒業生の皆さん、卒業おめでとう。今から約2年前、新型コロナウイルス感染症が全国に広がりました。その感染拡大防止のため、この2年間は臨時休校であったり、学校行事の短縮や延期であったりと制限されることが多く、気が滅入るときもありました。しかしそのようなときでも3年生の皆さんは、一人一人が役割を自覚し、本校を盛り上げようとひたむきに努力してくれました。

令和4年4月号
(第152号)
発行者
日奈久住民自治会

日奈久の人口
(2月末現在)
男 1,116人
女 1,354人
計 2,470人
(前月比-4人)
(2009年末3,444人)

3月11日（金）に2年生5名（2名欠席）と保護者の参加で立憲式が実施されました。

第一部は、アグリ日奈久代表の白石節夫さんを講師に招き「将来の目標に向けて」と題しての講演でした。その内容を抜粋します。

「何にでも打ち込むことが将来の自分のためになると思います。今の子どもは優秀生だけ個性がないといわれます。個性を發揮できる子どもになってほしいと思います。

自分の潜在能力をいかに伸ばすかが大切です。それを社会や職場で活かすことが重要です。27歳の時に親に勧められて農業を始めました。35歳の時、みんなのために社会貢献できないかと考え、組織を立ち上げました。それまで廃棄処理されていた稲わらをお金

日奈久中学校で立志式 自分を見つめ思い新たに

にしようじゃないかというのがスタートでした。いかに利益を残すかを考えたときに、会社方式にしようと考え、株式会社にしたのが「アグリ日奈久」です。分らないことが多かったけど、勉強してきたことで知識も増え、いろいろ対応できるようになりました。知識がないと少ない知識の中で対応していかなければならないので、若いうちに知識を増やしていくことが大切です。

これから高校に進学する中で自分にとって親友といえる人を作ってほしいと思います。子どもを持つ親友になるという目標を持っていて友は、勉強に励み医者になって頑張っています。高い目標を持つことが大切です。たとえ失敗

日奈久歴史散歩

日奈久トンネル工事故 弔魂碑にハンゲル文字

今回も、光本照夫さん（山下町）からいただいたお便りをもとにご紹介します。

大正12年（1923）8月、八代〜日奈久間の鉄道が開通し、昭和2年（1927）海岸線全線が開通し、鹿児島本線となりました。この肥薩海岸線の工事で殉職された方々を後世に伝えるために建てられたのが左の写真の弔魂碑です。



はじめ馬越に建てられましたが、国道工事のため下町下塩屋のトンネルの近くに移されました。

「ありがとう」が
行き交うまち 日奈久
身近な人に「ありがとう」
愛する日奈久に「ありがとう」
訪れる人に「ありがとう」



敗があっても、反省しても一度挑戦していくことです。親からもらった体を大切に、会社に入ったら最低5年間は頑張ってお返ししたいと思います。」と話しました。



中学生に語りかける白石さん

日奈久第二トンネル工事は、大雨による崩落事故があり、16名の方が犠牲になりました。工事には、天草方面からも多くの人が来て働いていたため、命日には天草から参拝者がありました。五十回忌を過ぎた頃から、天草の方々のお参りはなくなりしましたが、ご近所の方が花や水をお供えして供養しています。温かい話ですね。

数年前、八代のNPOちなものい歴史研修会の現地調査に同行し、この犠牲者の中にハンゲル文字の名前があることを知りました。どういう縁でこちらへ来たのか、遠い異国の地で命を落とし、心中はいかばかりかと思えます。

今も韓国との間には複雑な問題があります。佐渡の金山を世界遺産に申請することも、朝鮮の人が強制労働をさせられたと韓国から異議が唱えられています。日奈久で何があったか分かりませんが、これらとは無縁であって欲しいと思うばかりです。せめて弔魂碑に祀られ、安らかなれと祈るのみです。

住民自治会運営委から

3月15日（火）開催の運営委員会から、記事として扱っていない主な事項についてお伝えします。

- 生活環境部会
- ・津森小遭難の碑公園の樹木が伸びすぎています。手入れする必要がありますので検討中です。
- スポーツ文化部会
- ・令和4年度は、市民体育祭が開催予定です。
- 旅館組合
- ・5月8日の母の日にカーネーション風呂と日奈久温泉母の日マルシェを開催予定です。
- 事務局
- ・令和4年度の住民自治会総会は書面議決で行います。
- ・イベントで使うちくわ焼きの器具は、八代市地域みらいづくり補助金で2台作成しました。



ちくわ焼き器具

（編集部から）

日露戦争後の明治43年（1910）日本は大韓帝国を廃し朝鮮に変え植民地化しました。（朝鮮併合）

それ以前から軍事目的のため、日本は朝鮮に鉄道建設を計画し、日本の大手建設会社が多く朝鮮の人を工夫として雇い入れ完成させました。そのときの工夫が熟練工として日本の鉄道建設にも雇われ来日しました。朝鮮の工夫たちは差別を受けたり危険で過酷な労働を強いられました。たことがあったといわれています。

【お詫びと訂正】
前号の記事で、山下夢生さんの祖父の横田整一郎さんのお名前を誤って記載してしまいました。お詫びして訂正いたします。

4月の行事から

11日（月）日奈久小・中学校
入学式
29日（金）☒ 昭和の日

<住民自治会関係会議等>
11日（月）市政協力員例会
15日（金）運営委員会
18日（月）広報部会

ご寄付へのお礼

むかえ町薬局の江浦俊男様から、ひなぐ雛祭りや日奈久住民自治会の運営支援として寄付をいただきました。ありがとうございました。

婦人会便り

ゴミブリ団子を販売します。
今年は原材料の高騰で100グラム200円です。申し込みは、各町内婦人会役員がコミセンに4月15日（金）まで。詳しくは町内回覧板でお知らせします。

（広告欄）

幽玄の灯りが春を呼ぶ ひなぐ雛祭り

3月2日は、午後から住民自治会イベント部会や婦人会また地域有志の皆さんの協力で、竹灯りの設置作業が行われました。約600本の竹灯りと10本の彫刻灯籠を設置しました。事前の準備や設置作業、後片付け等参加の皆さんお疲れ様でした。



設置作業に励む
参加者の皆さん



灯りに誘われて走る子ども

たという4歳の下村希乃花（ののか）さんは、写真を撮ったり、光の間を楽しそうに駆け回ったりしていました。「きれいだった」「とても楽しかった」とうれしそうでした。さて、城下町やつしろのお雛祭り実行委員会の俳句募集には、420句の投稿がありました。入賞作品の中に、次の作品がありました。

秀作

【マニマの指集まりてひな折る】

日奈久東町 上野悦子

今年は2日、3日とも穏やかな天気でした。夕闇が迫る中、ライトの灯りがともされると、ほんのり暖かい光で、見事な光の花が開き、時間の経過とともにその輝きが増していきました。2日間で延べ200人が来場しました。来場された人は、幽玄の光にうつと。太田郷校区から家族連れで来

みんなで頑張り盛り上げました ～豪雨災害復興プロジェクト～球磨川リバイバルトレイル

令和2年7月に発生した豪雨災害を忘れないために、復興を目的とした「球磨川リバイバルトレイル」（八代市等が主催が3月4日から6日にかけて開催されました。球磨川コースが168km、川辺川コースが102kmに合わせ



笑顔でゴールの土井選手

球磨川コースは、5日午前4時のスタート。川辺川コースは、5日午前10時30分のスタートでした。ゴールの日奈久ドリームランド「シー・湯・遊」に最初の選手が現れたのは、5日の午後9時50分でした。川辺川コースの土井陵（たかし）選手（大阪府40歳）で、タイムは11時間19分22秒でした。最後まで足取りも軽く、笑顔でゴールしまし

た。インタビューで土井さんは、「山道が好きなんだけど、平坦な道路を走りすぎてしんどかった。自然が豊かで、災害の後も見ることができ、大変だったんだと感じながら走りました。楽しかったです」と答えています。仕事は消防士で、日頃からよく走っているそうです。



疲れに負けずもてなす
地元スタッフ

東高生が日奈久ツアー企画 日奈久の魅力をアピール

八代市や経済団体などで作る日本遺産活用協議会と神岡交通トラベルの主催で、八代東高生が企画したバスツアーが開催されました。3月10日（木）高校生が案内して9名の観光ツアーが日奈久を訪れました。八代東高生が案内して9名の観光ツアーが日奈久を訪れました。八代東高生が案内して9名の観光ツアーが日奈久を訪れました。



竹輪焼きを楽しむ参加者と案内役の東高生

一行は竹崎友香さんのガイドで温泉めぐりをしました。3月10日（木）高校生が案内して9名の観光ツアーが日奈久を訪れました。八代東高生が案内して9名の観光ツアーが日奈久を訪れました。八代東高生が案内して9名の観光ツアーが日奈久を訪れました。

泉神社を散策し、温泉センター前広場で竹輪焼き体験をして楽しみました。合志市から参加の女性は、「高校生のガイドで楽しかった。竹輪は土産にします」と笑顔でした。「調べて新しい気づきがありました。領いて聴いてもいい達成感がありました」と竹崎さん。案内役の高校生は3名。観光や地域ビジネスについての学習を生かして将来は八代で仕事したいと話していました。このツアーに先立ち、3月3日（木）の午後に、案内役の3人が、日奈久ゆめ倉庫の橋本裕二館長の案内で、日奈久温泉や温泉神社の由来などを学びました。橋本館長の指導で、竹崎さんは、「自信を持って案内することができると喜んでいました。」



橋本館長から説明を聞く東高生

参加しませんが 草刈り機の安全な 操作講習会の開催

日奈久地区保全会（桑原信弘代表）は、日頃から用水路や排水路等の整備に取り組み、農家だけでなく地域住民の生活保全に努力しています。年に数回共同作業を実施していますが、その際に事故が起きないように講習会を開催するものです。これは、農家以外の方も参加できます。共同作業で草刈り機を使用される方は、是非受講してください。

◆日時 4月2日（土）、23日（土）

いずれも午後1時から

◆場所 株アグリ日奈久

（日奈久新開町190-1）

◆講習内容「草刈り機の安全な操作方法」

すでに受講されている人は再受講の必要はありません。この機会に是非参加しませんか。日奈久地区の環境保全にご理解とご協力をお願いします。



JRAウインズ八代より ようしくお願いします



内竹瑞姫さん

このたびウインズ八代副所長に就任しました、内竹瑞姫（みずき）と申します。出身はおとなり宮崎県です。地元九州での勤務ということで大変うれしく思っております。大変な状況下ではありますが、精いっぱい頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

お世話になりました



鴨澤桜花さん

3月1日付をもちまして、滋賀県の栗東トレーニング・センターへ異動することとなりました。新型コロナウイルスの影響により様々な制約の中で過ごした2年間でしたが、日奈久住民自治会の方々始め、地元の皆様は温かく支えていただき、充実した日々を送ることができました。八代での素敵な思い出と貴重な経験を糧に、新天地でも精一杯頑張ります。本当にありがとうございました。

街角スナップ



ちくわの顔出しパネルで撮影する人。パネルは現在いいこの広場にありす。

(広告欄)